

平成28年12月10日号（第168回）

阿伎留通信

公立阿伎留医療センターは、医の心を重んじ、患者の生命と健康と生活の質を考える良質の医療を実践し、地域医療の最適化に努力します。

今年のカレンダーも最後の一枚となりました。街はクリスマスの飾りつけで華やかな雰囲気になっていますね。楽しいイベントがある一方、寒さで体調を崩しやすい季節です。外出されるときは暖かい服装でお出かけください。



今回の阿伎留通信は、

－「地域活動のご紹介」－

をテーマに臨床検査科の清水 浩樹主任よりお話しさせていただきます。

当医療センターでは地域貢献活動としていくつかの取り組みを行っており、今回はその中の一つである「一次救命処置活動（BLS）」についてご紹介させていただきます。

まず院内の活動として、一次救命処置研修を定期的実施しております。これは心肺蘇生普及小委員会が中心となり、急変時対応のスキルアップのために開催しているものです。また院外では、地域のイベントや行事に参加してトレーニング用AED（自動体外式除細動器）や人形を使用した一次救命処置を体験していただくという活動も行っております。体験では学生や親子連れの方など、様々な年代の方が熱心に取り組んでいる様子が見られ、「思った以上に（胸骨圧迫を続けるのは）体力を使う」、「家族に何かあった時、知っていれば助かるかも知れない」というような感想も聞かれました。

私たちはこれからも「地域社会貢献」を理念として、より多くの方々に心臓マッサージの仕方やAEDの使い方を知って頂き、突然の救急対応にも積極的に関わって頂けるよう活動を行っていきたいと考えております。「一次救命処置の講習会」の依頼がございましたら、ぜひ当院「地域医療連携センター」までお問い合わせください。



イオンモール日の出 救急イベントの様子

救命の手順 JRC蘇生ガイドライン2015



いつでもAEDが使えるように ～AEDの日常点検～



阿伎留通信については、第1回から最新号まで、公立阿伎留医療センターのホームページで御覧になることができます。ホームページアドレス(<http://www.akiru-med.jp>)